Page 7, the last line to Page 8, line 3

The screen 15 is made of, e.g., an optically-transparent colored film or optically-transparent ink. In this embodiment, a red-colored screen 15 adhered to the entire surface of the thin-wall portion 16 is used.

Page 8, the last line to Page 9, line 8

Accordingly, in this embodiment, the color of the screen 15 and the color of the coloring agent mixed in the display member 12 will be composed, causing reddish illumination of the entire thin-wall portion 16. At the same time, the color of the coloring agent and the color of each of the first and second display portions 13 and 14 will be composed, causing greenish illumination of the first display portion 13 and bluish illumination of the second display portion14, in the reddish illumination color of the thin-wall portion 16.

⑩日本国特許庁(JP)

①実用新案出願公開

⑫ 公開実用新案公報(U)

平2-69428

識別記号

庁内整理番号

❸公開 平成2年(1990)5月25日

H 01 H 13/02 9/18 A 8224-5G B 7346-5G

審査請求 未請求 請求項の数 1 (全2頁)

公考案の名称 キートップ

②実 顧 昭63-148459

②出 顧 昭63(1988)11月16日

⑫考 案 者 富士野

斉 東京都大田区雪谷大塚町1番7号 アルブス電気株式会社

内

の出 顧 人 アルプス電気株式会社

東京都大田区雪谷大塚町1番7号

四代 理 人 弁理士 武 顕次郎

砂実用新家登録請求の範囲

表面に形成された表示部が裏面側からの光によって照光されるようになつている照光式キートップにおいて、着色剤を混入した光透過性樹脂で成形され、裏面に薄肉部を有する表示部材と、この表示部材の表面における前配薄肉部の形成領域内に印刷形成された光透過性有色塗料からなる表示部とを備え、前記光が前記表示部材の薄肉部を透過しそれ以外で遮光されるように構成したことを特徴とするキートップ。

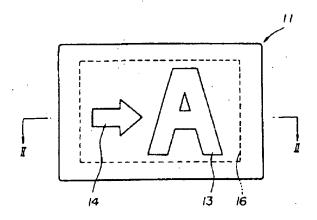
図面の簡単な説明

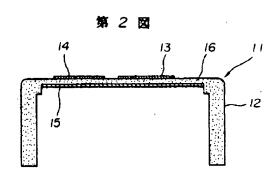
第1図は本考案の一実施例に係るキートップの

平面図、第2図は第1図のⅡ-Ⅱ線に沿う断面図、第3図は第1図に示すキートップの照光動作を示す説明図、第4図および第5図は従来の二色成形法で成形されたキートップを示す斜視図、第6図は従来のレーザ加工法によるキートップの製造工程図である。

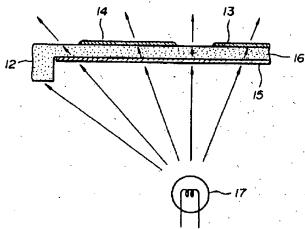
11……キートップ、12……表示部材、13 ……第1の表示部、14……第2の表示部、15 ……スクリーン、16……薄肉部、17……ランプ。





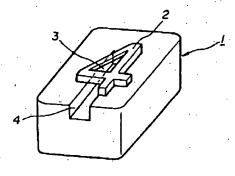


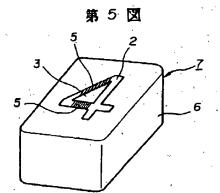
第3図



. (b)

第 4 図





第6図

